

◇業者だけの問題なのか、入札制度が問題なのか。恣意的な制度の運用はなかったのか、これらは何ら説明されていない。特別委員会を設置すべき。

その他の主な質疑

**意見書案第2号
教育予算の拡充を求める
意見書について
(全員賛成 原案可決)**

問 国の負担割合を2分の1に復元すること、とあるが、これは小泉政権時代に地方からの声で権限の移譲と併せて現在に至る経過があるが。

答 いわゆる「三位一体改革」の一つだったが、教育に関しては国が一定の責任を持って保証すべきと考える。県の教育委員会から同様の内容で国に訴えている。

財政指標で見る県内各市の決算状況比較表（総務省決算カードより） 単位：%

市名	経常収支比率			実質公債費比率			将来負担比率		
	20年度	21年度	比較	20年度	21年度	比較	20年度	21年度	比較
福岡市	93.1	94.0	●	17.8	16.8	○	254.0	237.7	○
北九州市	99.5	99.8	●	8.0	9.9	●	171.8	173.5	●
大牟田市	99.8	97.1	○	15.5	14.8	○	153.2	141.8	○
久留米市	95.4	94.3	○	5.8	5.1	○	50.7	50.2	○
直方市	101.1	98.3	○	14.9	14.6	○	97.1	107.4	●
飯塚市	101.4	97.2	○	14.6	14.5	○	69.2	52.1	○
田川市	101.7	96.8	○	13.6	14.0	●	23.3	6.9	○
柳川市	93.1	90.9	○	14.3	13.6	○	88.6	75.7	○
八女市	90.9	91.0	●	14.3	12.5	○	125.7	77.6	○
筑後市	90.1	90.1	-	14.4	12.5	○	97.1	83.0	○
大川市	96.3	93.4	○	14.8	13.5	○	148.8	137.7	○
行橋市	92.8	93.2	●	11.8	10.6	○	67.7	62.7	○
豊前市	94.9	94.3	○	15.2	14.7	○	130.3	117.3	○
中間市	97.9	97.1	○	14.3	15.8	●	135.7	143.9	●
小郡市	96.2	93.0	○	16.9	16.3	○	135.2	118.0	○
筑紫野市	93.3	90.9	○	12.2	12.7	●	50.7	51.4	●
春日市	101.1	97.3	○	13.4	12.7	○	-	-	-
大野城市	93.5	93.6	●	10.9	10.7	○	-	-	-
宗像市	88.7	86.4	○	7.1	5.3	○	-	-	-
太宰府市	95.1	92.9	○	11.6	9.2	○	-	-	-
糸島市	95.6	93.5	○	20.4	19.2	○	146.4	128.8	○
古賀市	89.6	91.3	●	9.6	8.7	○	-	-	-
福津市	91.3	91.4	●	8.8	8.2	○	40.9	27.6	○
うきは市	90.2	89.1	○	8.9	10.3	●	109.1	102.5	○
宮若市	98.0	103.2	●	13.1	12.7	○	42.1	29.4	○
嘉麻市	99.5	101.1	●	14.8	14.3	○	37.7	34.1	○
朝倉市	95.6	91.3	○	13.9	13.3	○	90.1	86.2	○
みやま市	90.0	87.3	○	12.6	12.3	○	37.5	27.3	○

○は「改善」、●は「悪化」を示しています

財政指標を家計にたとえてみると

経常収支比率 ◇毎月必要な支払分が給料に占める割合です。数値が高いほど、家計に余裕が無いことになります。80を超えると財政が弾力性を欠いているとされていましたが、現在では大部分の自治体が80を超えています。

実質公債費比率 ◇年収に対し借金返済額がいくらあるかという割合の3ヶ年平均値。筑後市では、18%以上になるとペナルティが課せられます。

将来負担比率 ◇自分（一般会計）だけでなく子ども（特別会計など）が抱えている借金総額から、貯金や親(国)からの援助を引いた額が年収の何倍あるかを示したものの。筑後市では350%を超えると「早期健全化基準」を超えることになります。各比率は一定の計算式で求められますが「将来負担比率」については、充当可能財源が将来負担額を上回る自治体は分子がマイナスとなるため「-」と表示されます。

* 22年度の県内各市の状況（速報値）は、福岡県のホームページ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/f11/22kessan.html> でご覧になれます。